

科目名：老年看護学援助論Ⅱ		必	1 単位 (45 時間)
(Gerontologic Nursing Assistance Theory Ⅱ) 履修年次/時期：2 年次 後期 授業形態：講義 主担当教員：吉越洋枝（実務経験 11 年：病院看護師と訪問看護師として、高齢者を対象とした看護実践の実務経験がある。その経験を活かし、高齢者を対象とした看護が考えられるように授業を行う） 担当教員：渡邊好江、石川智子、外部講師（認知症認定看護師）			
学修目的	加齢による変化や障害をあわせもつ高齢者の心身に対して、生活を整える看護の考え方と援助の方法を修得する。 CP2, 3, 5, 6に関連する。 科目 No.KNz-215		
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。	
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
		(3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
	◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP		
	○： この講義・演習・実習と関連がある DP		
到達目標	① 高齢者の健康生活を支えるうえで、高齢者自身の持つ力を活かす看護について理解できる。 ② 高齢者に特徴的な症候・疾患・障害について、加齢の影響も含めた看護について説明できる。 ③ 治療（薬物療法、手術療法など）を受ける高齢者の看護について説明できる。 ④ 認知症を有する高齢者および認知症高齢者を支える家族等を含めた看護について説明できる。 ⑤ 終末期にある高齢者および高齢者を支える家族等を含めた看護について説明できる。		
授業概要	高齢者に特有な症状や疾患・障害に応じた看護、健康状態や受療状況に応じた看護について学習する。		
評価方法	定期試験 100 点 評価に対するフィードバックは掲示で行う。		
予習・復習時間	【予習】0.5 時間 【復習】0.5 時間		
教科書	①系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論 医学書院 ②系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院		
参考書	授業・演習の中で適宜紹介します。		
お問い合わせ先	特定の日時を設定したオフィスアワーは設けません。実習で不在のことも多いので、必ずアポイントメントをとってください。直接研究室に来訪するかメールで連絡をお願いします。 吉越洋枝（3 号館 3 階研究室）yoshikoshi@kdu.ac.jp 渡邊好江（3 号館 3 階研究室）y.watanabe@kdu.ac.jp 石川智子（3 号館 3 階共同研究室）t.ishikawa@kdu.ac.jp		

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 (/)	ガイダンス 老年症候群 (1) ①老年症候群とは何かが説明できる。 ②老年症候群の分類が説明できる。	[予習] 教科書第2章 A・B を読んで臨む。 [復習] 授業内容の整理と追加額数をする [キーワード] 老年症候群	講義 ○吉越
2 (/)	老年症候群 (2) 急性疾患に付随する症候 ③熱中症の成因と治療・看護が理解できる。 ④脱水の成因と治療・看護が理解できる。 ⑥発熱の成因と治療・看護が理解できる。	[予習] 教科書第2章Bを読んで臨む。 [復習] 授業内容の整理と追加学習 [キーワード] 非労作性熱中症、労作性熱中症、経口補水液、脱水症、BUN とCr 比、発熱	講義 ○石川
3 (/)	老年症候群 (3) 慢性疾患に付随する症候 ③浮腫の成因と治療・看護が理解できる。 ④睡眠障害の成因と治療・看護が理解できる。 老年症候群 (4) ADL 低下に付随する症候 ②排尿障害の成因と治療・看護が理解できる。 ③便秘の成因と治療・看護が理解できる。 ④嚥下障害の成因と治療・看護が理解できる。	[予習] 教科書第2章 C・D を読んで臨む。 [復習] 授業内容の整理と追加学習 [キーワード] 浮腫、老人性浮腫、睡眠障害、尿失禁、夜間頻尿、便秘、不顕性誤嚥、嚥下機能検査、口腔ケア、嚥下訓練、	講義 ○石川
4 (/)	老年症候群 (5) ADL 低下に付随する症候 ①廃用症候群とは何かが説明できる、 ①転倒の成因と治療・看護が理解できる。 老年症候群 (6) フレイル ①フレイルとは何かが説明できる。 ②サルコペニアとは何かが説明できる。 ②フレイルの原因と治療・看護が理解できる。	[予習] 教科書第2章D・Eを読んで臨む。 [復習] 授業内容の整理と追加学習 [キーワード] 廃用症候群、転倒スコア、フレイル、サルコペニア、低栄養	講義 ○吉越
5 (/)	高齢者の疾患の特徴と看護 (1) 脳血管障害 ①脳血管障害の病態生理・症状が理解できる。 ②治療経過が理解できる。 ③治療経過に応じた看護が説明できる。	[予習] 教科書第4章B①を読んで臨む。 [復習] 授業内容の整理と追加学習 [キーワード] 脳卒中の疾患分類、診断・治療、症状、治療経過、経過別の看護	講義 ○渡邊
6 (/)	高齢者の疾患の特徴と看護 (2) パーキンソン病 ①パーキンソン病の病態生理・症状が理解できる。 ②治療経過が理解できる。 ③治療経過に応じた看護が説明できる。	[予習] 教科書第4章B②を読んで臨む。 [復習] 授業内容の整理と追加学習 [キーワード] 4つの症状、重症度分類、薬物療法、アドヒアランス、日内変動、クリニカルパス	講義 ○吉越

7 (/)	高齢者の疾患の特徴と看護(3) 高齢者肺炎・感染性胃腸炎 ①高齢者肺炎の病態生理・症状が理解できる。 ②高齢者肺炎患者に必要な看護が説明できる。 ③感染性胃腸炎の病態生理・症状が理解できる。 ④感染性胃腸炎患者に必要な看護が説明できる。	[予習] 教科書第4章Dを読んで臨む。 [復習] 授業内容の整理と追加学習 [キーワード] 肺炎の種類、原因菌、高齢者肺炎のメカニズム、診断・治療、気道クリアランス、酸素化、ノロウイルス、感染経路、予防策	講義 ○石川
8 (/)	高齢者の疾患の特徴と看護(4) 骨粗鬆症・骨折 ①骨粗鬆症の病態生理・症状が理解できる。 ②骨粗鬆症患者に必要な看護が説明できる。 ③高齢者に多い骨折部位が説明できる。 ④大腿骨近位部骨折の治療経過が理解できる。 ⑤骨折の治療・看護の原則が説明できる。	[予習] 教科書第4章Jを読んで臨む。 [復習] 授業内容の整理と追加学習 [キーワード] 骨粗鬆症の定義、成因、リモデリング、骨密度 YAM、予防、高齢者に多くみられる骨折、治療の原則、大腿骨近位部骨折、ガーデン分類、クリニカルパス、看護の要点	講義 ○吉越
9 (/) 10 (/)	高齢者の疾患の特徴と看護(8) (認知症) ①認知症の定義が説明できる。 ②認知症の基本構造が説明できる。 ③認知症の診断・治療と予防について理解できる。 ④認知症4疾患の特徴が説明できる。 ⑤認知症患者に必要な看護が説明できる。	[予習] 教科書第4章Aを読んで臨む。 [復習] 授業内容の整理と追加学習 [キーワード] 中核症状、BPSD、MMSE、SPECT、画像検査、アルツハイマー病、血管性認知症、レビー小体、前頭側頭型	講義 ○認知症 認定看護師
11 (/)	高齢者の疾患の特徴と看護(5) COPD ①COPDの病態生理・症状が理解できる。 ②治療経過が理解できる。 ③COPD患者に必要な看護が説明できる。	[予習] 教科書第4章Dを読んで臨む。 [復習] 授業内容の整理と追加学習 [キーワード] COPD、拘束性肺疾患、閉塞性肺疾患、呼吸不全、在宅酸素療法、クリニカルパス	講義 ○吉越
12 (/)	高齢者の疾患の特徴と看護(6) うつ、せん妄 ①高齢者のうつ状態の症状が理解できる。 ②高齢者のうつに対する看護のポイントが説明できる。 ③せん妄のリスク要因が説明できる。 ④せん妄を予防するための看護が説明できる。 ⑤せん妄発生時の看護が説明できる。	[予習] 教科書第4章B③、第2章B②を読んで臨む。 [復習] 授業内容の整理と追加学習 [キーワード] せん妄、dementia、抑うつ、うつ状態	講義 ○石川
13 (/)	高齢者の疾患の特徴と看護(7) 前立腺疾患 ①前立腺肥大症の検査と診断について説明できる。 ②前立腺肥大症の治療と看護について説明できる。 高齢者の手術療法に対する看護 ①手術を受ける高齢者の特徴と術前管理について説明できる。 ②高齢者に特徴的な手術と援助について理解する。 ③術後合併症の予防と、援助について理解する。	[予習] 教科書第4章I⑤を読んで臨む。 [復習] 授業内容の整理と追加学習 [キーワード] 前立腺肥大症、前立腺がん、高齢者ゆえのリスク、意思決定、術前管理、術後管理、術後合併症予防	講義 ○石川
14 (/)	薬物療法と看護 ①加齢に伴う薬物療法の変化を理解する。	[予習] 教科書第5章を読んで臨む。 [復習] 授業内容の整理と追加学習	講義 ○吉越

	②服薬管理とリスクマネジメントについて説明できる。 ③薬物療法に対する援助について説明できる。	[キーワード]薬物動態の変化、有害反応、看護師の責務、高齢者と薬の関係、アドヒアランス、多剤併用（ポリファーマシー）	
15（ / ）	終末期の看護 ①終末期の概念と晩年期の特徴について説明できる。 ②終末期の生き方や死の迎え方の意向について説明できる。 ③終末期の身体兆候について理解できる。 ④終末期の苦痛緩和と安楽のための援助について説明できる。 ⑤終末期の精神的苦痛に対する援助について説明できる。	[予習] 教科書終章を読んで臨む。 [復習] 授業内容の整理と追加学習 [キーワード]自己の死生観、ターミナルケア、緩和ケア、エンドオブライフケア、死にいたる経過の4 類型、意思決定支援、症状マネジメント、日常生活支援、悲嘆	講義 ○渡邊